

2024経営戦略方針

【基本戦略】

基本政策に基づく取組みを総合的に進めつつ、中期の経営戦略方針に定める「未来への投資戦略」をさらに重点化する

(中期の経営戦略方針に定める「未来への投資戦略」)

優先課題①子どもたちの笑顔あふれる未来のために 優先課題②コロナを乗り越え、元気いっぱいの豊中へ 優先課題③暮らしを便利に・快適に

【背景】

- 脱コロナにおける資源配分への転換
(国からの財政支援が縮小、物価高などコスト増要因)
- 市有施設の老朽化に伴う更新経費、社会保障関係経費の増

- 未来への投資を持続的に行うため、重点課題を絞込み、有効な取組みに投資を重点化

- 着眼点**
- 人口は令和2年をピークに減少局面
(社会増で自然減をカバーしきれない状況)
 - 市内転入・市外転出は20～30才代がいずれも最多
 - 国を挙げたこども・子育て政策の抜本的な強化

- 課題**
- 子育て世代の市内転入の推進・当該世代の居住定着の向上
 - 地域特性を踏まえたこども政策の推進
※若年世代の増加は、コミュニティ、防災、地域経済、社会保障をはじめ地域社会全体へ効果が波及

【重点化の考え方】

1 “地域活性化・発展の戦略”として「こども政策の充実・強化」を重点政策に位置づけ

2 子育て世代が将来にわたり「ずっと住みたいと思える環境づくり」をあわせて推進（全世代に対する効果）

・本市は強みや特性を背景に発展。このため、こども・子育て世代の視点ももって本市の強み・特性に磨きをかけ「ずっと住みたいまち」の実現に向けて、下記に該当する取組みを推進する。

- 人とのつながり、交流、学びの機会を充実させる取組み
- 安心安全な暮らしを支える住環境を向上させる取組み
- 交通の利便性・快適性を高める取組み
- 地域資源に磨きをかける取組み

3 取組みを推進するにあたっては「デジタル」を徹底的に活用

課題対応と地域活性化・発展を両立させ好循環を創出

【戦略推進にあたって】

- 「創る改革」により新たな投資を行うための恒常的財源を確保
- 政策の重点化に対応するため予算編成において「重点戦略フレーム」を措置